

UEC-Z77A評価・開発用ボードセット

UEC-EV77A-6,8,16,16N

¥31,320 (税込)

概要

UEC-EV77Aは、シングルボードコンピューターUEC-Z77Aの評価開発用ボードセットです。ICEにダイレクト接続可能な40ピンDIPソケットが用意されているだけでなく、簡易RS-232Cレベル変換回路やパラレル入出力ポートのLEDモニター機能も装備されていますので、ROMインサーキット方式のデバッガや、ROMモニタープログラムをご使用になる場合にもたいへん便利です。

UEC-EV77AとUEC-Z77Aはコネクタが共通ですから、開発中はUEC-EV77Aを使用し、組み込み時にUEC-Z77Aと差し替えることができます。なお、UEC-EV77AにはUEC-Z77Aが着脱可能な状態で含まれています。(ICE接続ボードはUEC-Z77Aのシステムクロック周波数によらず、共通にお使いいただけます。)

主な特長

ICEダイレクト接続

Z80CPU用ICEプローブが接続可能なDIPソケットが装備されています。

簡易RS-232Cレベル変換回路

チャンネルAのTxD,RxDを使用してパソコン等に接続できます。

パラレルポートLEDモニター

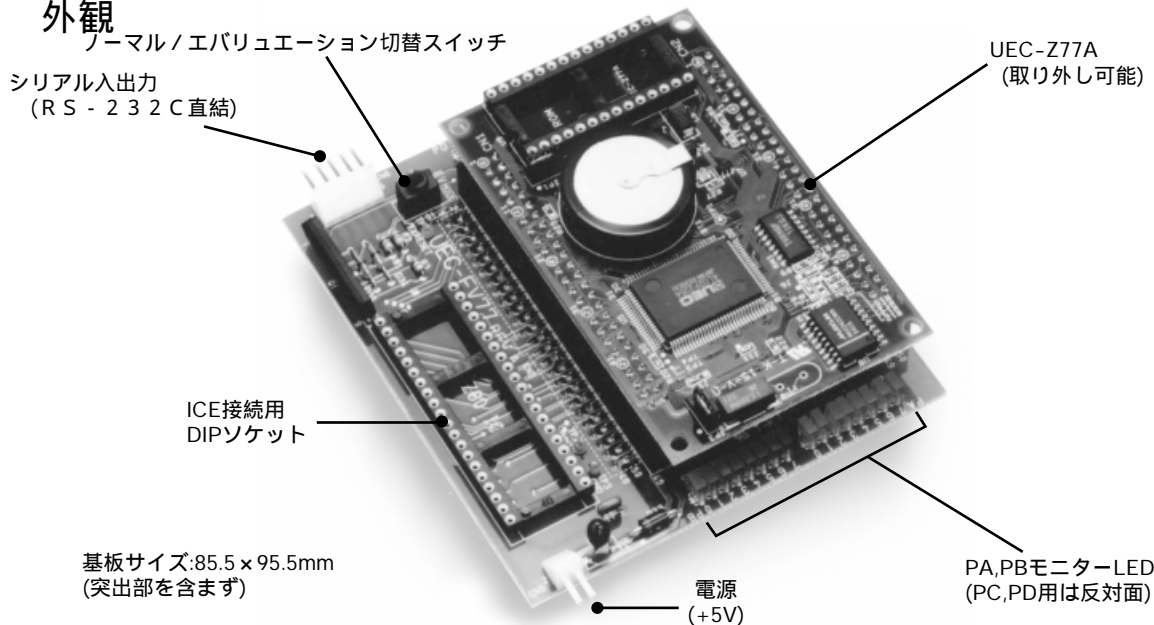
バッファを通してLEDを駆動しているため動作回路にほとんど負荷となりません。

EXRESET,NMIテストピン

ROMインサーキットタイプのデバッガ接続に便利です。

低価格

外観



UEC-EV77Aに含まれているUEC-Z77Aは、取り外して単独でUEC-Z77Aとしても使用できます。(ただし、一部ジャンパの変更が必要です。)

セットに含まれるUEC-Z77Aの種別 (-6:6MHz、-8:8MHz、-16:16MHz、-16N:16MHzポートプルアップ無)をご指定ください。

安全に関する注意事項



本製品には一般電子機器用(OA機器・通信機器・計測機器・工作機械等)に製造された半導体部品を使用しておりますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置(医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等)に組み込んで使用しないでください。

また半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性がありますので、ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計(リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等)に万全を期されますようお願い申し上げます。

技術的なお問い合わせは(技術部直通TEL/FAX)



0120-024768

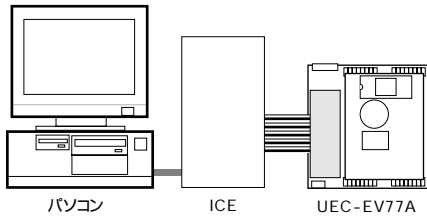


梅澤無線電機株式会社

東京営業部 101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-3-14 TEL03-3256-4491 FAX03-3256-4494
仙台営業所 982-0012 仙台市太白区長町南4丁目25-5 TEL022-304-3880 FAX022-304-3882
札幌営業所 060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目 TEL011-251-2992 FAX011-281-2515

開発環境のご提案

ICEをご使用の場合



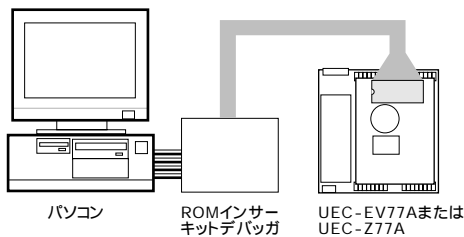
開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ Cコンパイラ
 ICEコントロールソフトウェア

ホストマシン上でアセンブラ・Cコンパイラ等を使用してプログラムを開発し、ICEにダウンロードしてデバッグを進めます。システム全体の価格は高価ですが、ハードウェア・ソフトウェア全般のデバッグに最も強力な開発環境を構成します。ICE本体は短期間のレンタルで使用することもできます。

なおUEC-Z77A-16の場合は、システムクロックを8MHzとしてICEとご接続いただけますが、16MHzの場合はいったん8MHzシステムクロックでICEを使用して開発し、その後クロック速度等を変更する部分をプログラムに付加してROM化後、ICEを切り離れた状態で動作を確認する必要があります。

UEC-Z77A-16にICEを接続して開発する場合は、外部からのWAIT入力は使用できませんのでご注意ください。

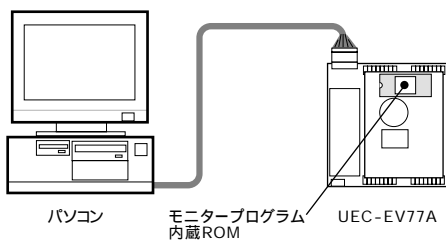
ROMインサーキットデバッガをご使用の場合



開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ Cコンパイラ
 デバッガコントロールソフトウェア(デバッガに付属)

ターゲットのROMソケットを通してデバッグを行うタイプのICEはコストパフォーマンスにすぐれ、シンボリックデバッグやソースレベルデバッグが低価格で実現可能な他、コントロールソフトのみの追加購入で86系や68K系のデバッガとしても使用できます。この種のICEが動作するためにはCPUやメモリが正常に機能している必要があるため、周辺回路のバスインターフェースに異常がありCPUが動作しない場合はデバッグできませんので注意が必要です。デバッガの動作はシステムクロックに依存せず、エミュレーションメモリのアクセスタイムに依存するため、UEC-Z77A-16を16MHzシステムクロックで動作させる場合にも使用できます。

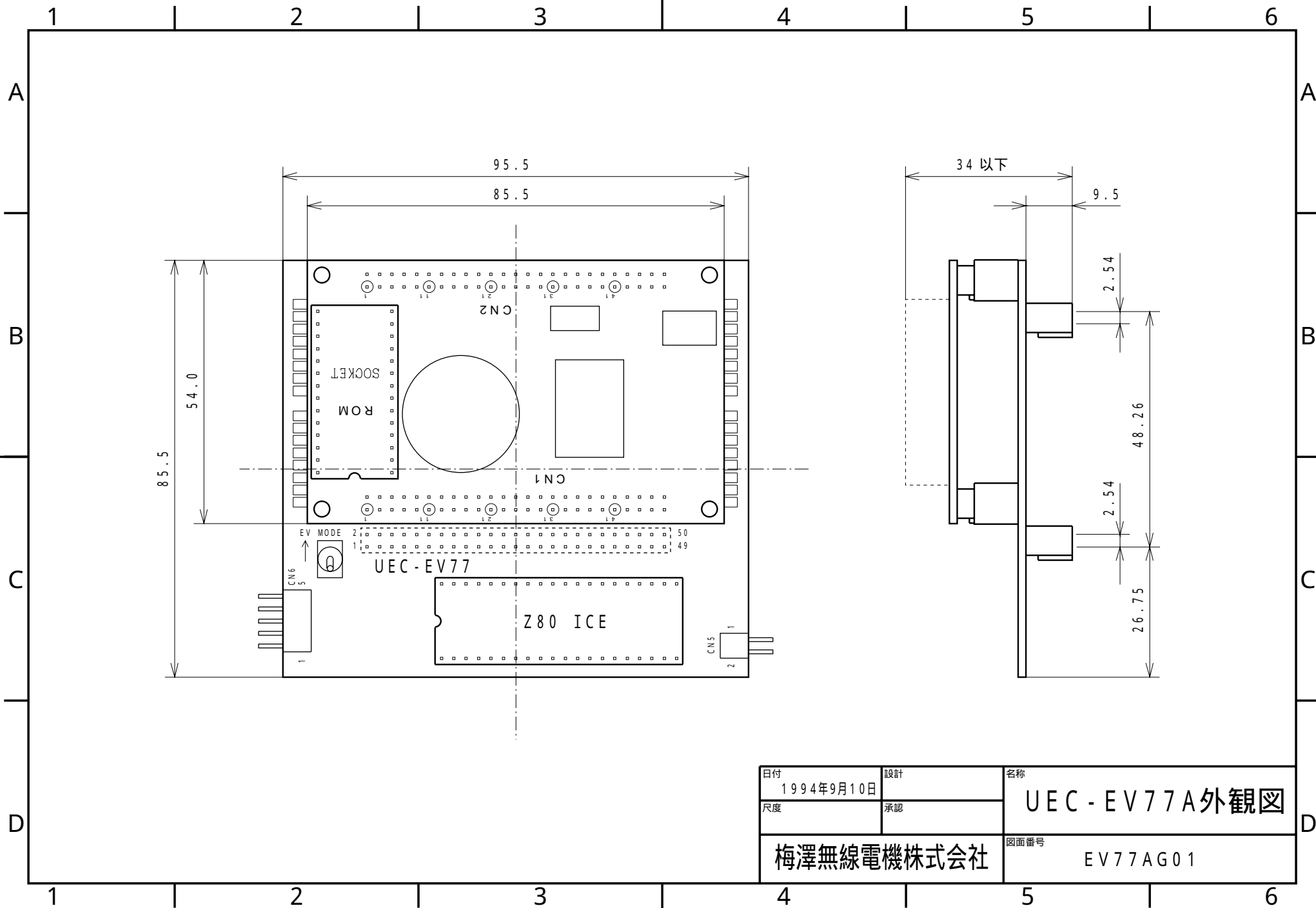
ROMモニタープログラムをご使用の場合



開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ ターミナルソフト(パソコン通信用のもの)
 UEC-MONZ77(ROMモニタープログラム)

MONZ77(ROMモニタープログラム)をUEC-EV77A上で動作させ、パソコン等をターミナルとしてRS-232Cで接続します。ホストパソコン上で開発したプログラムをRAM上に転送し、デバッグを進めます。シンボリックデバッグはサポートされていないため大規模なプログラムの開発には不向きですが、簡単な実験等には小回りのきく便利な開発ツールです。モニタープログラムはUEC-Z77A-16を16MHzシステムクロックで動作させる場合にも使用できます。

いずれの場合も開発時にはUEC-EV77Aを使用し、ROM化が完了した時点でUEC-Z77Aとダイレクトに差替えることができます。



日付 1994年9月10日	設計	名称 UEC-EV77A外觀図
尺度	承認	
梅澤無線電機株式会社		図面番号 EV77AG01

TO TARGET BOARD

UEC-Z77A

